

四経連 第81回景気動向調査

－ 調査結果 －

平成26年6月調査

四国経済連合会

四経連景気動向調査(26年6月)の結果をご報告いたします。
調査にご協力いただきました皆様方に心から感謝いたします。

1. 調査結果の概要	1
2. 調査結果	
(1) 経営者の景況感	2
(2) 生産・消費など経済活動の現況	4
(3) 賃金(毎年6月の定例調査)	11
(4) 消費税率引上げの影響(トピックス調査)	12

調査方法

(1) 景況感、生産、輸出、在庫、企業業績、設備投資、
雇用、消費、賃金、トピックス …… アンケート調査

調査対象：四経連会員企業を中心に419社

回 答：260社(62.1%)

(2) 消費、マネーフロー、物流 …… ヒアリング調査

調査対象：四国の小売、金融、運送業など40社

調査期間

平成26年6月1日(日) ～ 6月9日(月)

1. 調査結果の概要

個人消費は、消費税増税前の駆け込みの反動が耐久消費財などにみられるものの、全体としては持ち直し傾向にある。生産活動や輸出も持ち直しの動きが続いており、企業業績にも引き続き明るさが窺える。

四国の景気が「既に回復」または「回復傾向」とみる企業の割合が、前回3月調査の70%から72%に増加するなど、経営者の景況感は引き続き改善している。

このように四国の景気は、消費税増税の影響は限定的とみられ、回復が続いている。

経営者の景況感

四国の景気が「既に回復」または「回復傾向」とみる企業の割合が、前回3月調査の70%から72%に増加するなど、経営者の景況感は引き続き改善している。昨年3月調査以来、6四半期連続の改善となった。

生産・消費など経済活動の現況

生産の現状(26年4～6月期)は、前年同期と比べ「増加」とする企業の割合(36%)が「減少」とする企業の割合(21%)を4四半期連続で上回るなど、持ち直しの動きが続いている。

輸出の現状も、前年同期と比べ「増加」とする企業の割合(29%)が「減少」とする企業の割合(20%)を4四半期連続で上回るなど、持ち直しの動きが続いている。

在庫は、「過剰」または「やや過剰」とする企業の割合が前回調査の30%から27%に減少し、過剰感がさらに薄らいでいる。

企業業績は、「大変良い」または「良い」とする企業の割合(30%)が「悪い」または「大変悪い」とする企業の割合(24%)を2四半期連続で上回るなど、引き続き明るさが窺える。

設備投資は、26年度の投資額(計画)が、前年度に比べ「増加」とする企業の割合(30%)が「減少」とする企業の割合(15%)を上回っており、緩やかな持ち直しの動きがみられる。

雇用は、雇用調整を実施中の企業の割合が、前回調査と同じ15%と低い水準にとどまるなど、比較的良好な状況にある。

個人消費は、消費税増税前の駆け込みの反動で耐久消費財や家庭用品などが落ち込んだものの、徐々に落ち込み幅の縮小もみられ、また、食料品や衣料品は比較的堅調となっており、全体としては持ち直し傾向にある。

マネーフロー(銀行貸出)は、個人向けは主力の住宅ローンが消費税増税前の駆け込みの反動からやや低調なものの、企業向けが医療・福祉や太陽光発電、不動産賃貸関連を中心に比較的堅調なことなどから、緩やかに持ち直している。

物流(貨物輸送量)は、消費税増税前の駆け込みの反動がみられるものの、建設資材や輸出品の荷動きが堅調なことなどから、総じて底堅い動きとなっている。

2. 調査結果

(1) 経営者の景況感

- 現在の四国の景気について、「既に回復」または「回復傾向」とみる企業の割合が、前回3月調査の70%から72%*に増加する一方、「低迷・底ばい」または「下降」とみる企業の割合は30%から28%に減少するなど、経営者の景況感は引き続き改善している。昨年3月調査以来、6四半期連続の改善となった。

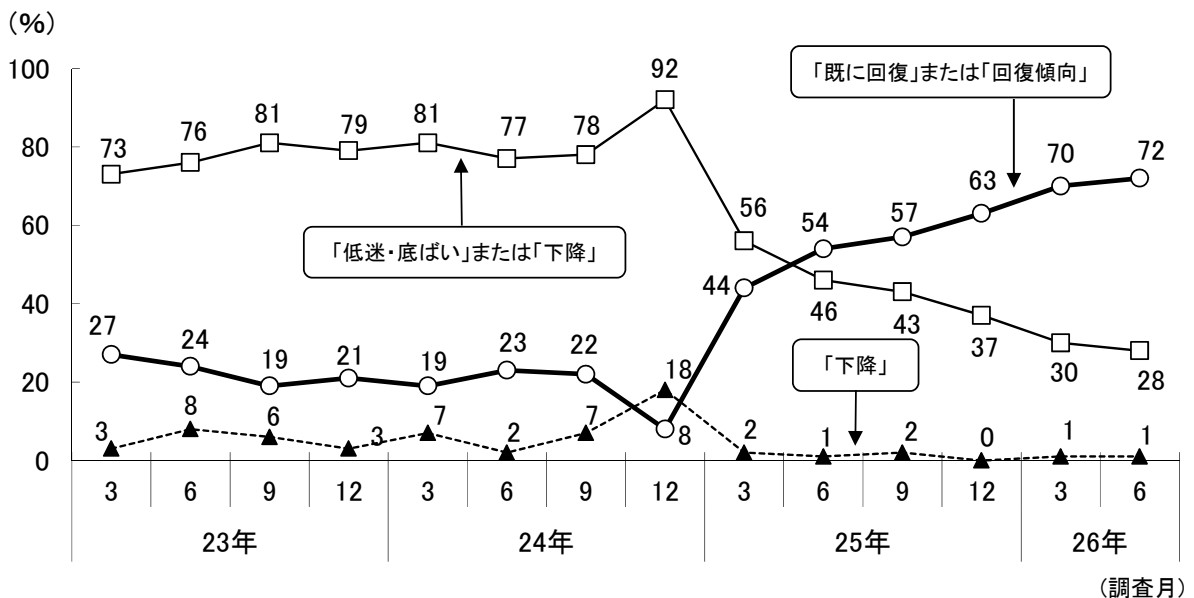
※ 調査開始（平成6年6月）以来、最も高い。前回調査に続き最高を更新。

現在の景気の局面

		(%)			
		既に回復	回復傾向	低迷・底ばい	下降
今回 (6月)	製造業	3	68	26	3
	非製造業	3	70	27	0
	計	3	69	27	1
		72		28	
前回 (3月)	製造業	2	67	30	1
	非製造業	3	68	28	1
	計	3	67	29	1
		70		30	

「既に回復」・・・回復し、拡大しつつある 「回復傾向」・・・回復に向かいつつある
 「低迷・底ばい」・・・低迷しており、底ばい状態にある 「下降」・・・下降局面にある

経営者の景況感の推移



(参考) 企業規模別の景況感(「既に回復」または「回復傾向」とみる企業の割合)

	大企業			中堅企業			中小企業		
	計	既に回復	回復傾向	計	既に回復	回復傾向	計	既に回復	回復傾向
今回(6月)	71	3	68	78	7	71	69	1	68
前回(3月)	77	2	75	71	8	63	65	1	64

(注) 大企業：資本金10億円以上、中堅企業：1億円以上10億円未満、中小企業：1億円未満、以下同じ

- 来期（26年7～9月期）の景気については、現在と比べ「変わらない」とみる企業の割合が66%を占めているものの、「良くなる」とみる企業の割合が31%となり、「悪くなる」とみる企業の割合は3%にとどまっている。

来期の景気（現在との比較）

(%)

		良くなる	変わらない	悪くなる
今回6月調査	製造業	27	67	6
	非製造業	33	65	2
	計	31	66	3
前回3月調査	製造業	18	56	26
	非製造業	16	60	24
	計	17	58	25

(2) 生産・消費など経済活動の現況

① 生産（四国内の工場の生産動向）

- 生産の現状（26年4～6月期）は、前年同期と比べ「増加」とする企業の割合（36%）が「減少」とする企業の割合（21%）を4四半期連続で上回るなど、持ち直しの動きが続いている。

来期（26年7～9月期）の生産についても、前年と比べ「増加」とする企業の割合（30%）が「減少」とする企業の割合（15%）を上回るなど、持ち直しの動きが続く見通しとなっている。

生産の現状

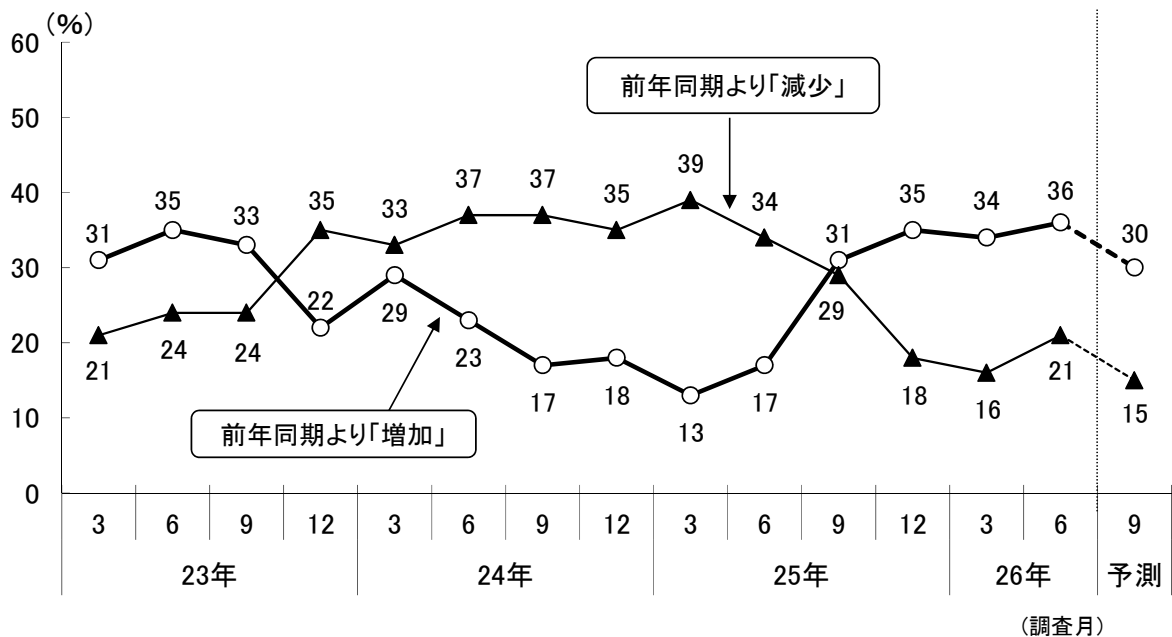
	前年同期との比較			前期との比較		
	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
今回6月調査 (26年4～6月期)	36	43	21	20	61	19
前回3月調査 (26年1～3月期)	34	50	16	18	66	16

(注)調査対象：四国に工場を持つ製造業（回答数：84社）

生産の先行き（26年7～9月期の予想）

	前年同期との比較		
	増加	横ばい	減少
今回6月調査	30	55	15

生産の現状（前年同期との比較）の推移



② 輸 出（四国内の工場の輸出動向）

- 輸出の現状(26年4～6月期)は、前年同期と比べ「増加」とする企業の割合（29％）が「減少」とする企業の割合（20％）を4四半期連続で上回るなど、持ち直しの動きが続いている。

来期（26年7～9月期）の輸出についても、前年と比べ「増加」とする企業の割合（20％）が「減少」とする企業の割合（16％）を上回っており、持ち直しの動きが続く見通しとなっている。

輸出の現状

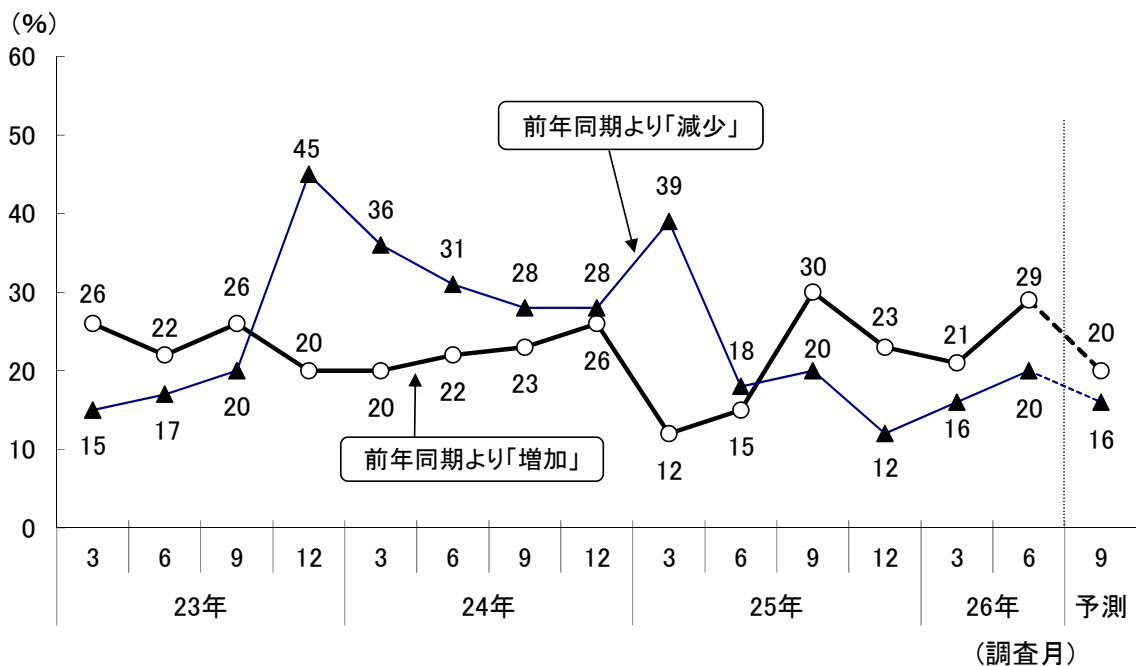
	前年同期との比較			前期との比較		
	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
今回6月調査 (26年4～6月期)	29	51	20	23	63	14
前回3月調査 (26年1～3月期)	21	63	16	12	67	21

(注)調査対象：四国内に工場を持ち、輸出している製造業（回答数：51社）

輸出の先行き（26年7～9月期の予想）

	前年同期との比較		
	増加	横ばい	減少
今回6月調査	20	64	16

輸出の現状（前年同期との比較）の推移



③ 在庫

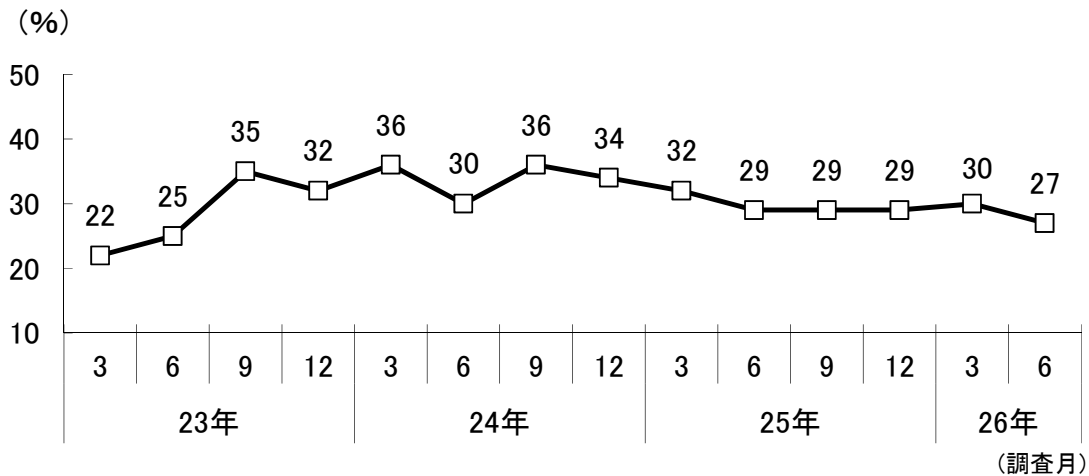
- 現在の在庫水準は、「適正」または「不足・やや不足」とする企業の割合が前回調査の70%から73%に増加する一方、「過剰」または「やや過剰」とする企業の割合は30%から27%に減少し、過剰感がさらに薄らいでいる。

現在の在庫水準

		(%)			
		過剰	やや過剰	適正	不足・やや不足
今回 (6月)	製造業	3	28	64	5
	非製造業	4	12	76	8
	計	3	24	67	6
		27		73	
前回 (3月)	製造業	4	29	59	8
	非製造業	4	17	75	4
	計	4	26	63	7
		30		70	

(注)調査対象：在庫を持つ企業（回答数106社：製造業81社、非製造業25社）

在庫水準が「過剰」または「やや過剰」と答えた企業の割合の推移



(参考) 在庫調整が終了し適正な水準に戻ると予想する時期

		(%)			
		3ヵ月以内	6ヵ月以内	1年以内	1年より先
製造業		8	38	33	21
非製造業		25	25	25	25
計		11	36	32	21

(注)調査対象：現在の在庫水準を「過剰」「やや過剰」と回答した企業
(全回答企業の27%)

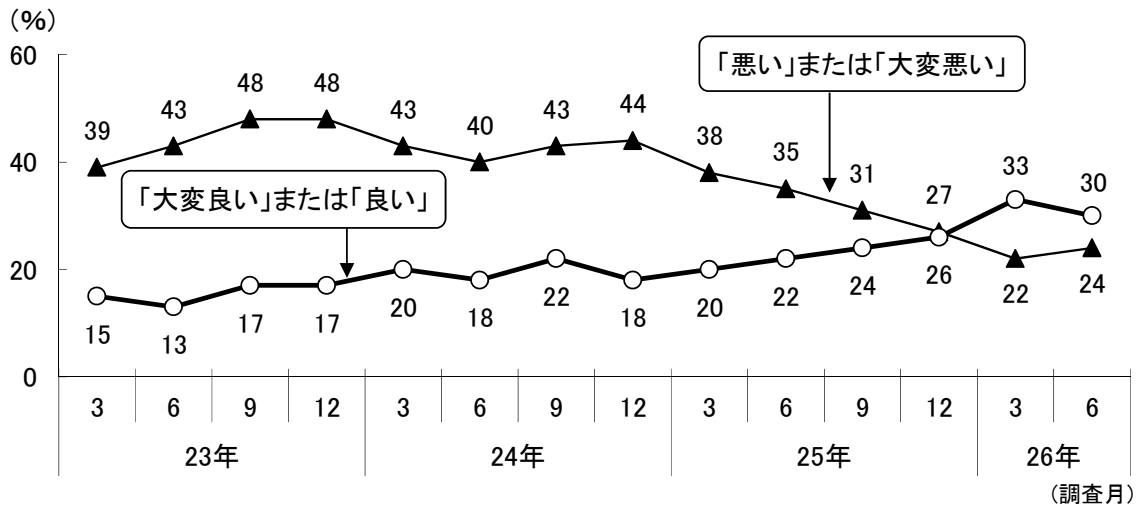
④ 企業業績

- 現在の業績水準について、「大変良い」または「良い」とする企業の割合が前回調査の33%から30%に減少したものの、「悪い」または「大変悪い」とする企業の割合(24%)を2四半期連続で上回るなど、企業業績には引き続き明るさが窺える。

現在の業績水準

		(%)				
		大変良い	良い	どちらとも いけない	悪い	大変悪い
今回 (6月)	製造業	1	29	41	27	2
	非製造業	1	28	49	21	1
	計	1	29	46	23	1
		30			24	
前回 (3月)	製造業	2	31	40	24	3
	非製造業	3	30	48	17	2
	計	2	31	45	20	2
		33			22	

業績が「大変良い」・「良い」、「悪い」・「大変悪い」と答えた企業の割合の推移



(参考) 企業規模別の業績水準

	大企業			中堅企業			中小企業		
	大変良い、 良い	どちらとも いけない	悪い、 大変悪い	大変良い、 良い	どちらとも いけない	悪い、 大変悪い	大変良い、 良い	どちらとも いけない	悪い、 大変悪い
今回(6月)	30	50	20	31	40	29	28	46	26
前回(3月)	35	45	20	29	44	27	33	45	22

(参考) 業績が良くなると予想する時期

	(%)			
	3ヵ月以内	6ヵ月以内	1年以内	1年より先
製造業	6	19	34	41
非製造業	10	16	24	50
計	8	17	28	47

(注)調査対象：現在の業績水準を「どちらともいけない」「悪い」「大変悪い」と回答した企業(全回答企業の70%)

⑤ 設備投資（四国内の投資）

○ 26年度の投資額（計画）は、前年度に比べ「横ばい」とする企業の割合が過半（55%）を占める一方、「増加」とする企業の割合（30%）が「減少」とする企業の割合（15%）を上回っており、設備投資に緩やかな持ち直しの動きがみられる。

26年度設備投資計画（25年度投資額との比較）

(%)

		増加			横ばい	減少		
		計	30%以上	30%未満		計	30%未満	30%以上
今回 (6月)	製造業	34	12	22	52	14	9	5
	非製造業	26	13	13	58	16	6	10
	計	30	13	17	55	15	7	8
前回 (3月)	製造業	28	15	13	56	16	11	5
	非製造業	25	11	14	55	20	11	9
	計	27	13	14	55	18	11	7

(参考) 目的別の26年度設備投資計画（25年度投資額との比較）

(%)

	増加	横ばい	減少	増加-減少
維持・更新投資	21(22)	72(66)	7(12)	14(10)
能力増強投資	19(15)	70(72)	11(13)	8(2)
合理化・省力化投資	14(11)	79(81)	7(8)	7(3)
新製品の生産や新規事業の 進出に向けた投資	13(14)	80(77)	7(9)	6(5)
研究開発投資	8(5)	87(87)	5(8)	3(▲3)

(注) ()内の数字は前回3月調査の結果

⑥ 雇 用

- 四国に本社を置く企業で、雇用調整を実施中の企業の割合は、前回調査と同じ15%[※]と低い水準にとどまるなど、雇用は比較的良好な状況にある。

※ 調査開始（平成6年6月）以来、最も低い。

現在の雇用調整の実施状況

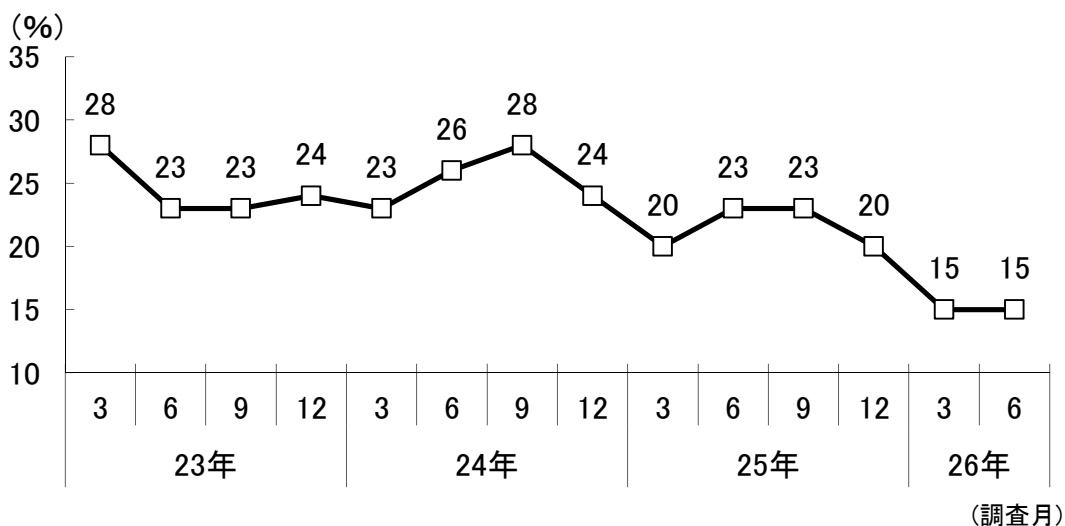
(%)

		実施している	実施していない
今回6月調査	製造業	13	87
	非製造業	16	84
	計	15	85
前回3月調査	製造業	18	82
	非製造業	14	86
	計	15	85

(注1) 雇用調整とは、人員の削減、採用の削減・停止、派遣・パート等への切替、残業規制、賃金カットなどを指す。

(注2) 調査対象：四国に本社を置く企業（回答数189社：製造業71社、非製造業118社）

雇用調整を実施している企業の割合の推移



⑦ 個人消費

- 個人消費は、消費税増税前の駆け込みの反動で耐久消費財や家庭用品などが落ち込んだものの、徐々に落ち込み幅の縮小もみられ、また、食料品や衣料品は比較的堅調となっており、全体としては持ち直し傾向にある。

具体的には、

- ・ **百貨店**は、駆け込みの反動で宝飾品や高級時計、化粧品等は大きく落ち込んでいたものの、主力の衣料品が初夏物、夏物を中心に伸びており、食料品も堅調なことなどから、次第に上向いている。
- ・ **スーパー**は、家庭用品（紙製品、洗剤等）などで駆け込みの反動減が次第に小さくなり、主力の飲食料品も生鮮品や総菜類を中心に堅調に推移していることなどから、ほぼ前年並みまで持ち直してきている。
- ・ **商店街**は、消費税増税の反動減から回復しつつあるところも一部にあるものの、郊外の大型小売店やネット通販との競合が激しさを増していることなどから、総じて厳しい状況が続いている。
- ・ **乗用車販売**は、低燃費の軽自動車や一部の新型車は比較的堅調なもの、消費税増税前の駆け込みの反動に加え、今後のモデルチェンジを見越した買い控えもあり、全体としては前年を下回っている。
- ・ **家電販売**は、駆け込みの反動による落ち込みはあるものの、冷蔵庫や洗濯機、エアコンなどで省エネ・高機能製品を中心に動きがあり、パソコンもウィンドウズXPサポート切れに伴う買替需要が続くなど、持ち直し傾向にある。
- ・ **家具販売**は、住宅新築の減少や消費税増税に伴う駆け込みの反動で、前年を大きく下回っているものの、減少幅は徐々に小さくなっている。
- ・ **観光関連**は、周年記念イベントの効果やアジアを中心とした外国人観光客の増加などがみられるものの、他地域との競合もあって、団体客を中心にやや低調となっている。

(参考) 四国内での個人向けの売上の現状 (消費関連企業へのアンケートの結果)

(%)

	前年同期との比較			前期との比較		
	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
今回6月調査	9	41	50	6	37	57

(注) 調査対象：小売、旅行・宿泊・運輸・レジャー、通信、飲食業 (回答数：46社)

⑧ マネーフロー

- 銀行の貸出は、個人向けは主力の住宅ローンが消費税増税前の駆け込みの反動からやや低調なもの、企業向けが医療・福祉や太陽光発電、不動産賃貸関連を中心に比較的堅調なことなどから、緩やかに持ち直している。

⑨ 物流

- 物流は、消費税増税前の駆け込みの反動がみられるものの、建設資材や輸出品の荷動きが堅調なことなどから、総じて底堅い動きとなっている。

(3) 賃金（毎年6月の定例調査）

① 基準内賃金の状況

- 四国に本社を置く企業の26年度の基準内賃金については、「引上げを実施」とする割合が昨年度の80%から86%に増加した。このうち、「ベースアップを実施」とする割合が昨年度の13%から26%に増加している。

26年度基準内賃金の状況

(%)

		引上げを実施	(複数回答)		ベア、定昇等 ともになし (据え置き)	引下げ を実施
			ベースアップ を実施	定期昇給等 を実施		
26年度 [予定を含む]	製造業	81	25	66	19	0
	非製造業	90	26	79	10	0
	計	86	26	74	14	0
25年度 [実績]	製造業	75	14	65	25	0
	非製造業	83	13	77	16	1
	計	80	13	73	19	1

(注) 調査対象：四国に本社を置く企業（回答187社、26年度は未定の4社を除く）

② 賞与・一時金の状況

- 26年度の賞与・一時金については、「引上げを実施」とする企業の割合が昨年度の31%から33%に増加する一方で、「引下げを実施」とする割合は11%から5%に減少している。

※「引上げを実施」の33%は、本設問を始めた19年6月調査以来、最も高い。
「引下げを実施」の5%も、同じく最も低い。

26年度賞与・一時金の状況

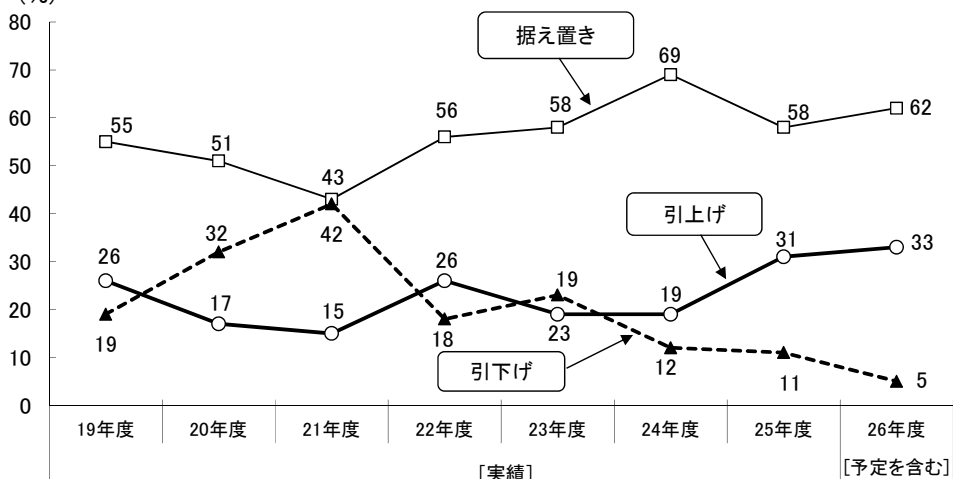
(%)

		引上げ を実施	前年度の水準 に据え置き	引下げ を実施
26年度 [予定を含む]	製造業	34	61	5
	非製造業	33	62	5
	計	33	62	5
25年度 [実績]	製造業	25	61	14
	非製造業	34	57	9
	計	31	58	11

(注) 調査対象：四国に本社を置く企業（回答187社、26年度は未定の17社を除く）

(参考) 賞与・一時金の推移

(%)



(4) 消費税率引上げの影響（トピックス調査）

① 現在（26年4～6月期）の売上への影響

- 消費税率引上げにより、現在の売上は、今年の同時期（25年4～6月期）と比べ「かなり減少している」とする企業の割合が7%、「少し減少している」が28%となり、合わせて35%の企業で減少している。一方、「ほとんど影響はない」とする割合が65%となっている。

現在の売上への影響

	(%)		
	かなり減少している	少し減少している	ほとんど影響はない
製 造 業	8	19	73
非 製 造 業	6	34	60
計	7	28	
	35		65

② 消費税率引上げの影響が続く期間

- 現在の売上が「かなり減少している」または「少し減少している」企業のうち、消費税率引上げの影響が続く期間は「26年7～9月期まで」とみる割合が63%を占めている。

売上への影響が続く期間

	26年		27年	
	7～9月期まで	10～12月期まで	1～3月期まで	4～6月期以降
製 造 業	63	8	29	0
非 製 造 業	63	22	8	7
計	63	18	14	5

(注)調査対象：消費税率引上げにより、現在の売上が「かなり減少している」「少し減少している」と回答した企業(全回答企業の35%)

四経連

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済連合会 担当者：大西、豊島

電話：087-851-6032 (代表)

四国経済連合会ホームページアドレス <http://www.yonkeiren.jp/>